

交通 部

交通死亡事故抑止総合対策の推進

令和4年中の県内における交通事故発生状況は、発生件数・死者数・負傷者数のいずれも前年に比べ減少しました。

交通死亡事故では、高齢者が犠牲となる事故の割合が高く、また、飲酒運転による事故も後を絶たないなど、依然として厳しい状況となっています。

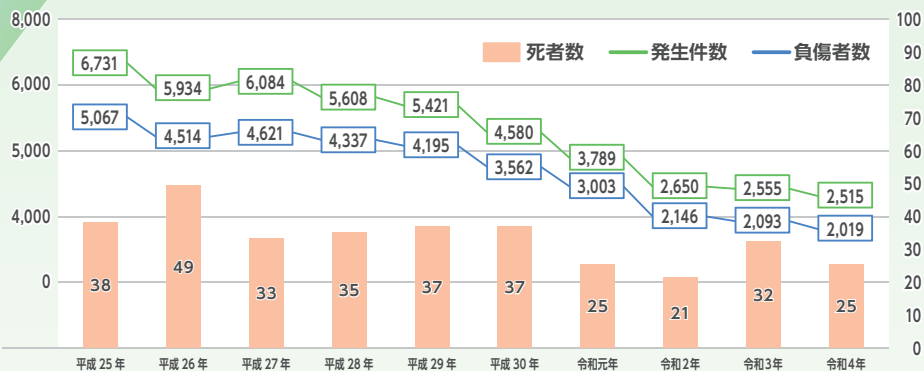
県警察では、このような状況を踏まえ、自治体、交通関係機関・団体等と連携した広報活動、タイムリーな情報発信及び交通安全教育に取り組むとともに、良好な自転車交通秩序の確立のための総合対策、交通事故実態を踏まえた交通指導取締りや合理的な交通への改善、高齢者事故防止対策といった諸対策を推進し、悲惨な交通事故の防止を図っていきます。



発生件数(件)
負傷者数(人)

交通事故発生状況

死者数(人)



交通安全教育

交通安全教育車「さちかぜ号」による活動をはじめ、学校・関係機関における交通安全教室の開催等、園児・児童から高齢者まで、年齢層に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育を推進しています。



「さちかぜ号」による交通安全教室



スタントマンによる交通安全教室

総合交通センターの学習ルーム・体験コース

学習ルーム・体験コースは、県内における交通安全教育の総合拠点であり、幼児から高齢者まで幅広い年齢の方々に交通安全について学んでいただける施設です。

学習ルームでは、シミュレーターを使用して歩行者や自転車、四輪車の危険な場面を体験学習することができます。

また、体験コースでは「正しい道路の歩き方教室」、「正しい自転車の乗り方教室」及び「高齢者体験型交通教室」等を行っています。



歩行教室



自転車教室



歩行者シミュレーター



自転車シミュレーター体験

交通管制センター

交通管制センターでは、信号機を制御するコンピュータや大型ディスプレイの交通情報表示板等の交通管制システムを使って、交通状況の管理をきめ細やかに行っています。

また、道路に設置している交通情報板に県内の交通状況や災害発生時の交通規制状況を表示して、ドライバーに道路交通情報をリアルタイムにお知らせするなど、安全で円滑な道路交通の確保に取り組んでいます。

施設見学も受け付けておりますので、詳しくは、警察本部総務課にお問い合わせください。



交通管制センター